

## 中部縦貫自動車道の現況について

中部縦貫道(松本波田道路)では、扇子田高架橋の建設工事が進み、本年7月から和田地区でも工事が開始されております。また、国道158号では「奈川渡改良事業」において、これまでに大白川大橋の橋梁工事が順調に進み、今年度は新入山トンネル掘削に向けた準備工事に着手しました。更に「狸平バイパス事業」では、本年6月よりトンネル掘削工事が開始されました。

国道158号は、関東と北陸を結ぶ経済文化活動の大動脈として、また上高地、乗鞍高原及び飛騨高山等の観光地へのアクセス道路として重要な役割を果たしております。しかし、急峻な山岳地帯を通過する道路のため、道路幅員が狭く、急カーブや大型車同士のすれ違いが困難なトンネルが数多くあり、観光シーズンには慢性的に交通渋滞が発生し、交通事故も多発しております。

また、令和2年7月の豪雨では、国道158号で発生した土砂崩れにより通行止めとなり、上高地の滞在客が一時孤立するなど、国道158号は土砂崩落等の

災害が絶えることがなく、地域住民の生命の危機、観光産業へのダメージ等、日常生活と地域経済に大きな障害を引き起こしているため、一日も早い整備が望まれます。

中部縦貫自動車道の建設は、福井県の国道158号大野油坂道路が令和8年春に全線開通する予定が発表されるなど、岐阜県や福井県では着々と工事が進められ、両県の整備進捗は目覚ましい状況であります。

しかしながら、起点の長野県側は積極的な取り組みが必要な状況となっております。この道路は、関東、中部、北陸地方の産業、経済、観光、文化の発展に大きく寄与するものであり、並行する沿岸路線と内陸路線を接続するネットワークの形成により、地域の観光業はもとより、広域的な産業の活性化も期待される路線です。更には、首都圏から中京圏、関西圏の国土を保全するネットワーク機能の強化を図る上からも、本路線の早期完成は県政においても最重要課題であると思われま

## 主要事業項目

### 1. 中部縦貫自動車道(松本～中ノ湯間)について

- (1) 波田から中ノ湯までの早期の全線ルート提示。
- (2) 松本波田道路の着実な事業促進。

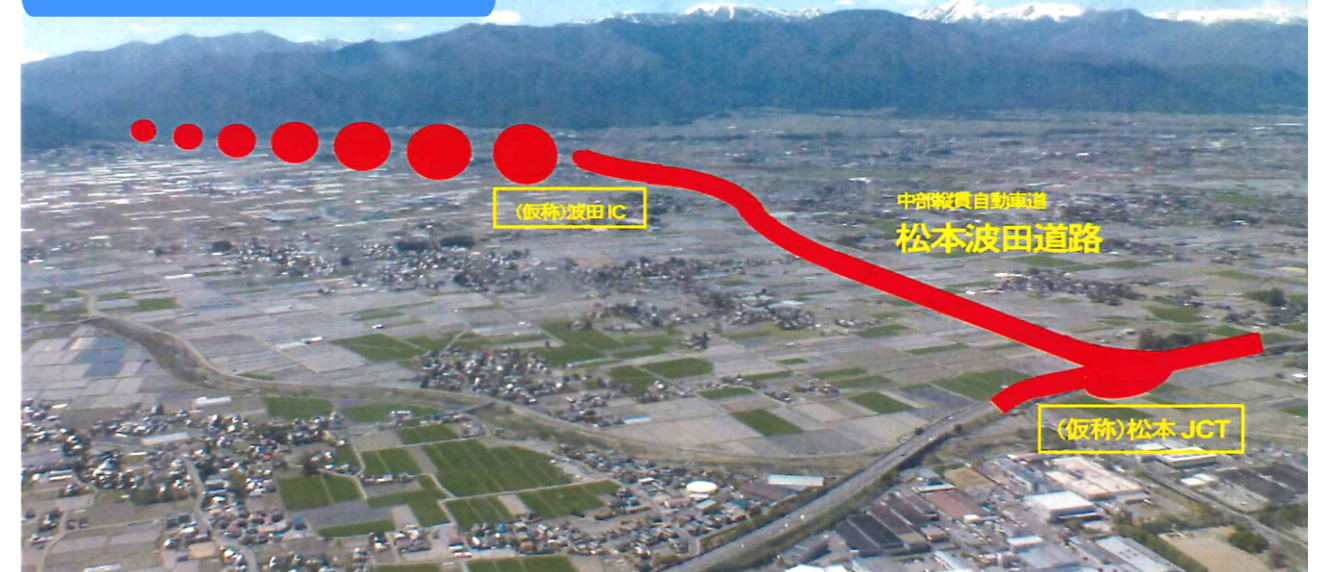
### 2. 国道158号の整備促進について

- (1) 奈川渡改良の早期工事完成。
- (2) 狸平バイパス事業の着実な事業促進。

### 3. 道路整備事業に係る予算の充実強化について

- (1) ポストコロナ時代の経済の「新たな日常」を実現するとともに、災害への備え及び観光等の経済活動復興のため、人流、物流の活性化に向けた道路ネットワークの整備と、景気の下支えとなる公共事業について、地域経済の早期回復を図るための補正予算を編成するとともに、地域負担軽減のための財政支援。
- (2) 国や地方が行う社会資本整備事業が着実に進められるよう、公共事業に関する必要な予算の確保。特に高規格道路の整備については、十分な予算配分が必要。
- (3) 国土強靱化対策を強力かつ計画的に推進するため、防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策について、当初予算における必要な予算の安定的、継続的な確保。

松本波田道路のイメージ図



資料：中部縦貫自動車道の早期建設を進める会

# 中部縦貫自動車道実現に向けて

## 事業の経緯

- 昭和62年 中部縦貫自動車道が高規格幹線道路として路線指定
- 平成3年 基本計画決定（松本波田道路）
- 9年 基本計画決定（波田～中ノ湯間）
- // 中部縦貫自動車道の安房峠道路（L=5.6km）開通
- 11年 都市計画決定（松本波田道路）
- 23年 国が国道158号奈川渡改良を権限代行として事業着手
- 26年～ 松本波田道路の用地交渉を開始
- 28年 国道158号奈川渡改良事業起工式、同年奈川渡2号トンネル掘削開始
- 29年 松本波田道路の設計協議が完了
- 30年 松本波田道路の用地測量が完了
- // 市が追加ICを2箇所設置する方向で関係機関と協議を行う方針を発表
- 令和元年 国道158号奈川渡改良事業で大白川トンネル（2号トンネル）が貫通
- 2年 国、県、市で第1回先線（波田～中ノ湯間）整備検討会を開催
- 3年～ 国が松本波田道路の本線工事に着手（波田地区橋梁下部工）
- 4年 国、県、市で第2回先線（波田～中ノ湯間）整備検討会を開催

# 松本地域の取り組み

## 1. 各種団体による運動強化

行政が主体となって活動する「中部縦貫自動車道（松本～中ノ湯間道路）建設・国道158号整備促進期成同盟会」、地域の経済団体で活動する「中部縦貫自動車道の早期建設を進める会」、松本市議会による「中部縦貫自動車道建設促進及び国道158号整備促進議員連盟」、国道158号沿線の西部4地区（安曇、奈川、梓川、波田）による「国道158号改良を促進する沿線住民の会」が、住民の声を反映した運動に力を入れています。

## 2. 中部縦貫自動車道の事業促進に向けた要望活動

「同盟会」、「進める会」、「議員連盟」、「沿線住民の会」により、地元選出の国会議員及び国土交通省へ要望活動を実施しています。（R3.9.3書面要望）

## 3. 建設促進に向けたPR活動

各種団体と共に広報誌を発行し、事業のPR活動を実施しています。



中部縦貫自動車道・波田～中ノ湯間  
2年ぶり整備検討会

国土交通省が整備を進める中部縦貫自動車道のうち、波田～中ノ湯間の先線（約5.6km）が、松本市議会による「中部縦貫自動車道建設促進及び国道158号整備促進議員連盟」の働きかけにより、2年ぶりに整備検討会が開催された。市議会議員は、整備促進に向けた要望活動を実施している。また、沿線住民の会など、地域の経済団体も積極的に活動している。市は、整備促進に向けたPR活動も実施している。

市民タイムス記事より（R4.6.18）

全延長	整備計画			計
	うち供用済み	うち事業中		
長野県	約 35 km	2.3 km (7%)	5.3 km (15%)	7.6 km (22%)
岐阜県	約 60 km	29.5 km (49%)	9.5 km (16%)	39.0 km (65%)
福井県	約 62.3 km	27.3 km (44%)	35.0 km (56%)	62.3 km (100%)
計	約 156.9 km	59.1 km (38%)	49.8 km (32%)	108.9 km (69%)

◎岐阜県、福井県の着実な進捗に比べ、長野県側は非常に遅れている!!

